

アイデアと情熱で、キミが社長になる!

最優秀賞に宇都宮女子高・館野さんの「株式会社 Blanc.C」

次代を担う若者から起業プランを公募する「第6回とちぎアントレプレナー・コンテスト」の表彰式が3月16日、下野新聞社本社で開催されました。最優秀賞は館野知紘さん(宇都宮女子高2年)の「株式会社 Blanc.C」が受賞、青木圭太実行委員長(青木製作所代表取締役)から開業資金100万円が贈られました。今回は前回に比べ320件増の1052件のエントリーがありました。アイデア審査、コンセプト審査、そしてプレゼン選考会を通過した12組の高校生で3月2日に最終プレゼン審査を実施。3月16日に受賞者が発表されました。

※第6回受賞者の在籍校と学年は3月16日現在です。[企画制作: 下野新聞社営業局]

第6回
とちぎ
アントレプレナー・
コンテスト
受賞者発表

最優秀賞
(1点)

全商品をユニセックスのデザインで販売 株式会社 Blanc.C

代表 館野 知紘(宇都宮女子高2年)

コンセプトはジェンダーの垣根を越え、すべての人に自由と調和の装いを届けることです。レディース、メンズの枠にとらわれない商品を展開します。全ての商品がユニセックスのアパレルメーカーはほとんどなく、当社は新しい道を切り開いていけると考えます。女らしい、男らしいという概念は社会によってつくられたもの。それを変えていけるのも社会の一員である私たちです。私はその手段としてファッションを選びました。当社の商品を身につけている人がそれぞれインフルエンサーとして機能し、そして、ゆっくりとしかし確かに人々の装いが変わっていく、社会が丸くなっていく。Blanc.Cの白は社会をより自由で創造的なものに変えていけるはず。



最優秀賞
¥1,000,000-
新会社開業資金

優秀賞
(2点)

高齢者が楽しめるゲーム開発と交流の場創出 株式会社 たんとん

代表 酒井 藍里(宇都宮商業高校2年)

ボランティアの学生や孫がお年寄りと楽しめるゲームやレクリエーションを開発し、コミュニケーションの機会を提供する会社を考えました。ゲームで脳を活性化し、お年寄りの笑顔を増やしたい。介護現場で働く外国人が増えた時でも絵を利用したゲームであれば気軽に年寄りや接する事ができます。地域の子ともお年寄りの交流をマッチングして、子どもにはボランティアの学習の場、お年寄りには健康寿命維持の場を提供したい。



輪を活用して便利商品をつくる MUGEN 株式会社

代表 蒲谷 桜(横浜サイエンスフロンティア高校1年)

当社の理念は「身近な輪っかですぐに楽しく。輪を用いた便利商品をつくる会社です。商品は長さが変わるつり革です。輪っかの中に革の部分が収納されていて、革の部分を伸ばすと約17センチ調節が可能になります。電車のつり革は基本的に身長が155センチないと届きにくいのですが、この商品でほとんどの人がつり革に届くようになります。私は不便なものを変え、みんなが使いやすい物が多い世の中にしていきたいと思っています。



特別審査員
(2点)

イチゴの形をした焼きの製造販売 株式会社 / 代表 中島 春陽(鹿沼商工高校2年)

グループメンバー: 山ノ井 櫻、太田 樹人、上澤 夏実、川津 憂奈(同)

「いちご県」を宣言している栃木県、「いちご市」を宣言している鹿沼市にはいちごに関連する商品がたくさんあっても、いちごの形をした名産がありません。イチゴの型を開発してイチゴ焼きを販売することを考えました。高校が創立110周年の記念行事の一環として製造資金を負担してくれました。市の協力を得て市内のイベントで実際に販売、売れました。将来「いちご饅頭」を製造販売して市の名産にして市を豊かにしたい。



循環型有機農業技術でエスニック野菜を生産 株式会社 KAMON AGRIFISH FARM / 代表 加藤 輝一(那須拓陽高校2年)

グループメンバー: 渡辺 宏祐(同)

日本で暮らすアジア系外国人向けに水耕栽培と水産養殖を掛け合わせた「アควアポニックス」という循環型有機農業の技術を用いてエスニック野菜、ハーブ、魚介類を生産供給するビジネスです。生産品は箱に詰めて代理店となる首都圏各地のエスニック食材店に送り、そこで小売り販売します。将来、食材店にも出資を呼びかけます。絆を深め、ただの生産者とバイヤーではなく利害を共有するビジネスパートナーとなることを目指します。



奨励賞
(7点)

心を癒す那須高原の温かなペンション 株式会社 ヒント

代表 鈴木 礼央(幸福の科学学園高校1年)

自然豊かな那須が大好き。那須のペンションに来て癒されて元気になって帰ってほしい。このスタイルが多くの人に伝われば素晴らしいと思ったのが創業の動機。お客様の話を聞き相談に乗っては語り合い、ゲームもできる温かい癒しの場を提供。バーも併設します。虫観察やステンドグラス作りなど季節に合わせたイベント、オフシーズンは山ごもりプランを用意。人生を見つめ直したい人や環境を変えて何かに集中したい人におすすめです。



日本人と外国人の交流の場をつくるカフェ グローバルコミュニティ 株式会社

代表 篠崎 さくら(佐野日大高校1年)

国際ボランティアや留学経験を踏まえ、日本と世界をつなぐ架け橋になるようなカフェが会社設立のきっかけです。コンセプトは「カフェ+駄菓子屋」。屋間は世界中のお菓子を駄菓子屋形式で販売。夜は日本料理やお酒を提供。利益の一部をユニセフなどに寄付します。国際交流協会や観光協会とタイアップし、着物の着付けや折り紙など日本文化を体験できるイベントも開催。互いを認め、互いの人権を尊重しあう社会を目指します。



インフラを活用した観光・教育事業の展開 株式会社 トチギインフラ2020 / 代表 新村 朝陽(栃木農業高校3年)

グループメンバー: 新藤 周平、坪井 栄斗(同)

インフラスポットを巡り自然の脅威や環境問題に向き合うツアーが注目されています。この会社は大型インフラを観光や教育資源として活用することが目的です。ダムを巡りながらの婚活、トンネルの音響を活かした音楽祭、修学旅行の生徒をインフラに呼び込む事業などを企画します。これが使われなくなるインフラが増えてきます。持続可能なインフラとするため観光、教育面で支援している人々にインフラに関心を持ってもらいたい。



見た目の悪い野菜の加工、販売 株式会社 OOE

代表 大塚 利奈(宇都宮海星女子高2年)

味や安全性に問題はないのに見た目が悪い野菜に運ばれることなく捨てられる野菜が多々あります。一人でも多くの人に形の悪い野菜を食べてもらいたいと思い、安全であることと知る機会を購入できる場をつくることを考えました。直接販売で味や安全性に問題ないことを伝え、それが口コミで広がればネット販売での購入者が増える流れをつくっていきたい。生産者が負担なく出荷できるよう直接野菜を採りに行くシステムもつくりたい。



高齢者食堂開設による高齢者の交流の場創出 株式会社 ばっこり

代表 星 綾乃(矢板東高校2年)

健康寿命を伸ばすために日々の食生活が大切になってきます。栄養豊富な食事を提供するとともに成人単独世帯、社会的に孤立している高齢者などの仲間、コミュニティの場になることを目指します。高校、大学とのコラボメニューの提供、地元飲食店が考案したメニューを試すモニタリングの場、契約野菜を使うなどして地元農家の活性化、買い物代行や障がい者雇用など、食堂を軸に地域の様々な課題に着手し相互扶助を実現したい。



「篠」を使ったストローの製造・販売 三浦 株式会社

代表 三浦 龍門(那須高校2年)

プラスチック公害問題に対する新たな環境づくりという観点から、身近にある篠に着目し「篠ストロー」の商品開発を考えました。マイ箸のように名前を焼き印してマイストローとして愛用することもできます。使ったストローは回収、リサイクルして再利用します。地元の素材を活かし加工、製造、販売を自社で行います。若者から高齢者までの雇用を増やして人口流出に歯止めをかけ、住み続けられるまちづくりを目標に活動していきたい。



■コンテストの概要 Tentre2018

「第6回とちぎアントレプレナー・コンテスト」は、県内の高校、高専、専門学校、短大、大学に在籍する生徒、学生を対象に「未来の社長への道」を開く実践的起業家教育プログラムとして実施されました。 ※本籍地もしくは保護者の居住が栃木県内ならば県外の短大、大学に在籍する栃木県出身者の応募を認めています。

■コンテストの流れ

- ①エントリー受付 (2018年9月6日~10月9日) →エントリー総数1,052件(計47校)
- ②1次選考 (10月23日) (エントリーシート審査) →アイデア賞52件を選出→セミナー開催
- ③2次選考 (12月3日) (ビジネスコンテスト審査) →コンセプト賞26件を選出→セミナー開催
- ④プレゼン選考 (2019年2月2日) (事業計画書、プレゼンテーション審査 ※非公開) →ファイナリスト12組を選出
- ⑤最終選考会 (3月2日) (事業計画書、プレゼンテーション審査 ※一般公開)
- ⑥結果発表・表彰式 (3月16日) →最優秀賞ほか、各賞発表・表彰、懇親会

●エントリー校

- 宇都宮高校
- 宇都宮南高校
- 宇都宮北高校
- 宇都宮女子高
- 宇都宮中央女子高
- 宇都宮白楊高校
- 宇都宮清陵高校
- 宇都宮工業高校
- 宇都宮商業高校
- 作新学院高校
- 宇都宮文星女子高
- 宇都宮短大附属高
- 宇都宮海星女子高
- 鹿沼高校
- 鹿沼東高校
- 鹿沼商工高校
- 今市高校
- 石橋高校
- 小山北桜高校
- 栃木農業高校
- 栃木女子高
- 國學院大栃木高
- 佐野高校
- 佐野東高校
- 佐野日大高校
- 足利高校
- 足利女子高
- 真岡高校
- 真岡工業高校
- 茂木高校
- 烏山高校
- 矢板東高校
- 大田原高校
- 那須拓陽高校
- 那須高校
- 黒磯高校
- 幸福の科学学園高校
- 県立盲学校
- 日産栃木自動車学校
- 宇都宮大学
- 藤野カトリック(駿河)
- 開智高校(埼玉)
- 不聖心女子学院高校(静岡)
- 慶應義塾大学(東京)
- 日本大学(東京)
- 大正大学(東京)
- 城西大学(埼玉)

(計47校)

次回開催決定!!

第7回とちぎアントレプレナー・コンテストが開催決定。エントリーはとちぎアントレWEBで受付中。詳しくはWEB&LINE@!!

●とちぎアントレWEB(エントリー・サイト)

とちぎアントレ 検索

http://www.tentre.com/

LINE@ @Tentre

●お問い合わせ

とちぎアントレプレナー・コンテスト実行委員会事務局
真岡市鬼怒ヶ丘1丁目15-10 (〒321-4367)
TEL.0285-81-3725 FAX.0285-82-1053
受付時間/9:00~17:00(日・祝日除く)

企業賞 (10点)

とちぎアントレを応援する企業より、本賞とは別に多数の企業賞が贈られました。

企業賞一覧	受賞プラン	副賞	提供企業
BC賞	(株)たんとん	炊事用・華月お食事券2万円分	(株)ブレイン・コミュニケーション
とちぎスマイル賞	(株)ヒント	JTB旅行券2万円分	(株)ピースノート
パソコン太郎賞	イチゴ焼き(株)	パソコン太郎による1年間の1Tコンサル(60万円相当)	パソコン太郎(株)
北星賞	(株)KAMON AGRIFISH FARM	2019年度からスタートする「地球のクラウドファンディング」のスピーカー参加権	北星商事
ジョイトーク賞	(株)mikan	TDLペアチケットジョイトークScope(スカイ) 券金4万5千円相当のレッスン無料券	(株)ジョイトーク
すましま賞	グローバルコミュニティ(株)	RADIO BERRYの番組「とちぎ住まいのスマイル」への出演権	住まいのネットワーク(株)
FAAVO宇都宮賞	(株)Blanc.C	クラウドファンディングFAAVOでの全カサポート券	(株)モンキークルージャパン
栃木インバウンド賞	(株)ばっこり	5,000円分の図書カード	(株)下野新聞社
リバナス賞	グローバルコミュニティ(株)	リバナス全社会議で協力者を表彰する権利(東京までの旅費・宿泊費も支給)	(株)リバナス
オーディエンス賞	(株)Blanc.C	現金3万円	(株)足利銀行

発電機能を搭載したマシンを設置したジム 株式会社 mikan

代表 大森 奏楽(宇都宮短大附属高校2年)

どうすれば最期まで精神的にも肉体的にも健康に暮らすことができるかを考え、解決策を見つめました。「筋力」です。我が社のジムの強みは「発電所×ジムの人力発電所」であること。発電により社会貢献ができ自己肯定感が高まり、身体が丈夫になることで精神ともに最期まで充実することができ。課題は発電用マシンの開発で、目標は世界の5分の1の発電量を担うこと。これで地球も人間もハッピーになればと思っています。

実行委員長あいさつ

自分の夢をかなえる一つの手段として、このコンテストがあります。プレゼンなどを通して高い目標、広い視野で物事をみられるようになったと思います。将来社会人になったときにこれまでの経験を活かせるようになることが重要です。そのことを胸に、就職に向けて日々努力していただきたいと思います。自分の夢を周りに発信し続けることで夢は必ず叶います。そのワクワクした気持ちを忘れずにください。

実行委員長 青木 圭太 氏 (株式会社青木製作所 代表取締役)

審査総評

プレゼンのテーマの背景になっているのは高齢化、食品ロス、外国人との共生など国や、地方が真剣に取り組んでいる重要な社会問題です。そうした問題を自分の問題としてとらえ起業を通じて解決しようという意欲をひしひしと感じることができました。最優秀賞は男女両性に向けたデザインで商品を販売するという画期的なコンセプト内容で、服飾の分野でジェンダーフリーを実現しようという素晴らしいプレゼンでした。

審査委員長 石崎 公宣 (下野新聞社)

第6回とちぎアントレ懇親会 (3月16日、下野新聞社本社大会室にて)

※表彰式の後に懇親会を開催。起業を目指す生徒・学生と、起業を応援するたくさんの方々の交流が、名刺交換(学生全員に名刺を配布)を行い、交流を楽しみました。

Tentre2018